

ほっぺ運営委員会



親子で参加！！流しそうめん大会

せや福祉ホームとほっぺの共催余暇活動

2019年9月7日（土）



恒例となりました**親子で参加！！流しそうめん大会**がせや福祉ホームで行われ、計114名が楽しいひと時を過ごしました。ボランティアさんが「次は〇〇を流すよ～」などと声をかけて下さり、ミニトマト、きゅうり、ウズラの卵、果物、グミなどが流れてくると、みんな一生懸命。竹の節で流れがゆっくりになったところを狙ったりして、頑張ってたかまえて食べていました。1部と2部に分けての活動ですが、保育部から成人部までの会員たちが集まります。子どもにとっては思う存分お祭りを味わえ、保護者にとっては、数年前はできなかったことを懐かしく思ったり、先輩を見て見通しがついたり、しばらく会わなかった仲間と会えたりする、貴重な機会なのではないでしょうか。

1部（11:30～14:00）未就園児～小学生 62名（保護者含む）



1部には保育部・就学部・学校部の小学生が参加します。親の会からはぼかぼかゲーム、ボウリング、ボールすくいを用意し、せや福祉ホームからはおもちゃ文庫を利用させて頂きました。ボランティアさん、親の会の手伝いでサポートし、お父さんも一緒に悩みを相談できたり、いろいろと話せたようです。

ぼかぼかゲームは目玉をつけたペットボトルをもぐらに見立て、穴から手動で出したところをピコピコハンマーでたたくという手作りのものですがもぐらの係をやってくれる子どももいて、次回から子どもがお店当番をするのもいいねという意見がありました。社会人になった先輩も手伝いに参加してくれて、とても助かりました。



ボウリングはペットボトルを並べてゴムボールで倒します。並べるのは大変ですが人気で、何度も投げて楽しむ子もいました。ボールすくいも並べば何度もできて、心ゆくまで楽しめたようでした。



キラキラのダイヤを集めたいなあ～

2部（15:30～18:00）小・中・高～社会人 53名（保護者含む）



2部は小中高生・社会人が参加。親の会からは射的、ストラックアウト、ボールすくいを用意し、せや福祉ホームからカラオケを利用させて頂きました。景品を選べる射的が人気で、何度も繰り返しチャレンジする子も多かったです。

百発百中！



ボールすくいは小・中学生に人気で、おしゃべりしながら景品を選んでいる様子が楽しそうでした。



どれを集めようかな？

カラオケは最初はちらっと見ていくだけの会員が多かったですが、後半、社会人が中心になって楽しそうに歌っていました。

親の交流会

総会 5月31日(金) せやまる多目的室

就学部 6月25日(火) せやまる

学校部の小学生から、個別級の様子、交流の仕方、担任との連絡方法、放課後デイサービスについて等

保育部 9月17日(火) せや福祉ホーム

就学部から保育園、幼稚園、療育センターなどについて等

昼の懇談会 11月12日(火) せやまる多目的室

保育部・就学部・学校部・成人部の合同懇親会

学校部 1月25日(土) せや福祉ホーム

成人部から就職するまでのこと、就職してからのこと、年金について、余暇について

夜の懇親会 2月1日(土) 鳥メロ

保育部・就学部・学校部・成人部の合同懇親会

運営委員会 年間8回開催(コロナ対策のため顔合わせは延期)

成人おめでとうございます

新成人のみなさんに質問しました。①どんな仕事をしていますか②好きなことはなんですか？③これからしてみたいことは何ですか？



TYさん

- ①縫製の部でミシンを使って小物を作る仕事をしています
- ②カラオケ、ボーリング、エレベーター鑑賞
- ③製菓の部でチーズケーキ作りもやってみたいです



ハナちゃん

- ①ペットボトル洗い、刺し子、チラシ折り、クッキー作り、ポスティングなどなど
- ②嵐の音楽を聴く
- ③事業所の目標ではお菓子作り(クルミを同じ大きさに切る)
みんなとダンスをする



MKさん

- ①クッキー並べ
- ②バイクや車のYouTubeをみること
- ③自転車で江ノ島に行くこと

ほっぺ活動報告

成人部

成人部は学校卒業後のほっぺ OB・OG の保護者の活動です。年数回集まり情報交換をしながら交流しています。

今年度は 7 月にせや福祉ホームのグループホーム“コーポあき”“クレールはる”見学があり、レポートを頂きました。

『せや福祉ホームのグループホームには身体障がいの方が半数入居されていることもあり、各部屋に洗面所と洗濯機用スペースが確保されていました。他者を気にすることなく使用できるようにと入居者の要望でもあったそうで、なるべくひと部屋で生活が完結できる方が生活のリズム、私物の管理もしやすいと思いました。食事の支度、病院の付き添いなど、一人では難しいことは管理スタッフに手伝ってもらいます。消灯時間や門限がなく、食事の時間も決まっていないコーポあきは自由に過ごせる分、自己管理が必要になります。入居するまでに部屋やトイレの掃除、洗濯などできるようになっていてと安心です（もちろん手伝ってもらいながらも）。グループホーム探しでの大まかな基準としては、立地、家賃（年金で暮らせるか）、管理スタッフの人数と時間（入居者数に対して）、医療支援・金銭管理支援の有無、形態などが目安にはなりますが、入居してみないとわかりにくい管理スタッフの対応もとても大事です。普段の生活のサポートをどこまで、どのようにして対応してもらえるのか、わが子の望む暮らしに合っているのかが重要です。

障がいのある人が必ずしもグループホームで暮らすわけではありませんが、それを希望する方は少なくないと思います。学校と違い、数年すると入居者が入れ替わる訳ではありません。ホームを新築する場所はあってもスタッフを確保するのが難しいのが現状です。当然希望するところに入居できる可能性は低いでしょう。運よく入居できたとしても実際のスタッフの対応や他入居者との相性問題もあります。少しでも暮らしやすい場所を選び直したいときもあるでしょう。“親なきあと”への備えの一つとして、わが子に合った生活の場に出会えるよう見学し、情報を集めることはとても大切だと思います。そして、わが子が自分なりに楽しく暮らしていけることを願うばかりです。』（井上）



学校部

中高生の活動には、『体操』と『いろ☆いろ』があります。『体操』は第 1, 2 週目の金曜日に二ツ橋小学校の体育館を借りて、17 時半から 19 時まで運動を行います。運動不足になりがちな中高生には、無理なく楽しく体を動かす場となっています。また、帰り際には施設の清掃も行い、礼儀も身につけます。『いろ☆いろ』は名前のとおり、いろいろな活動を土日（出欠のアンケートを取るなど日付調整もしています）にしています。2019 年度の活動は、調理、バーベキュー、映画、カップヌードルミュージアムの体験・見学、カラオケ、みかん狩り、餅つき、工作、生け花などです。調理とカラオケは中屋敷地区センターのお部屋を借りました。映画は海老名に行きました。工作、生け花はせやまるで、みかん狩りは瀬谷の相原果樹園、バーベキュー、餅つきも施設を予約して行きます。親と一緒に参加しますが、子どもたちだけで可能なことは子どもだけで体験させ、親はその間、お互いの悩みや相談、情報交換などで盛り上がります。家族以外の気を許しあえる同世代の友だちどうし故、皆、はつらつと活動し、有意義な時間を過ごしています。親も楽しめる内容ということも醍醐味の一つです。移動手段もいろいろで、駅集合で交通機関を使うこともあれば、車の乗り合いをすることもあります。子どもたちの状況に合わせて、相談しながら進めていくので、皆が気楽に参加できる活動です。



小学生の活動には、『サロン』『チャレンジ』『アトリエ』『ムーブメント』『ドニーチョ』があります。

『サロン』は学校部の小学生全員が所属しています。なかなか全員で集まることはできませんが、サロン以外の活動と一緒にではない親子とも会え、学校やきょうだい児のこなどを話す情報交換の場にもなっています。毎月第一金曜日の放課後に、せや福祉ホームに集まって、公園遊び、スライム、シャボン玉、プラレール遊びやハロウィン、クリスマス、お正月、節分など季節の活動を、親子とボランティアさんで楽しんでいます。一年を通した活動内容はみんなで決めて、毎月の活動は担当した親たちが準備と進行をします。

『チャレンジ』は小学生9名が在籍。月一回、16時半～17時45分まで二ツ橋小学校の体育館を借りて、走ったり、縄跳びをしたり、ボール遊びをしたりして、たくさん体を動かしています。今年はタグラグビーやボッチャの体験もさせていただきました。



『アトリエ』は、小学生から中学生を含む7名が在籍しています。

金曜日の放課後か、日曜日の午前中にせやまる他で、自分専用のオリジナル箱作り、うちわ作り、丸シールでアート、紙粘土、風呂敷作り、干支のねずみのぬり絵、キルトのパーツ作りを行いました。作品作りに関しては自由度が高く気軽に楽しめる活動です。



紙粘土



干支のねずみぬり絵



キルトのパーツ作り

『ムーブメント』は小中学生12名が在籍、月1回日曜日の午前中に瀬谷養護学校体育館にて活動しています。基本的カラーを取り入れ、ロープやスカーフ、ハットfrisビーなどを使い活動しています。行事に合わせて、こいのぼりやハロウィンのクモの巣を作ったりしました。



『ドニーチョ』は現在小学1～6年生の計10名が在籍。土日祝のいずれかを利用しての活動を行っています（年6回程度）。

今年の活動はボーリング、調理、あゆみ荘宿泊、みかん狩り、焼き芋を行いました。あゆみ荘では初めてみんなと一緒に泊りをする体験をしました。各活動を通して、親子・きょうだい児とも仲良くコミュニケーションをとれる活動を心がけています。





学校部 外活動

小学生・中学生・高校生・家族・ボランティアさん 2019年7月28日（日）

夏のバスハイクに行きました

小学生会員 12 名、中高生会員 8 名
家族とボランティアさんを合わせ総勢 48 名
で、東京方面へ。アクアパーク品川とソニーエクス
プローラーサイエンスを見学しました。



バス内ではマイクを使い、自己紹介やバスレク
などをして過ごします。とっても緊張する子、
面白いことを言って笑いを取りたい子、いろいろ
いて、親たちも発見があります。

アクアパーク品川はゆっくりと見て回る時間が
あり、暗いのが苦手な子も慣れてから楽しむ
ことができました。イルカのショーは大迫力で、
キャーキャー言いながら見たり、合羽を着て、
最前列で水しぶきの体験をする親子もいまし
た。



お昼のピュッフェはバイキングの練習。
苦手な食べ物が多い子も、おいしいものを見
つけることができたようです。
みんな、おなかいっぱい食べました。



ソニーエクスプローラーサイエンスには、声を
色々な形で表すコンテンツや、笑顔対決
（意外と難しい！）など、何種類ものコー
ナーがあり、二、三周まわって遊ぶことができ
ました。

バスツアーやバイキング、観光施設など、親
子では難しく感じていたことも、この日は挑
戦できます。充実した一日を過ごして、
みんな大満足でした。

「親子二人で行くのは道中考えると難しく
て。行けてよかったです」
「バイキングの練習できてよかった」
「楽しい、いろいろな発見がありました」
などなど、たくさん感想がありました。

バスハイク係のみなさん、
ありがとうございました！

外活動について

小学生・中学生・高校生が所属する学校
部。普段はそれぞれが選択したグループで活
動しており、夏の外活動が全体の活動になり
ます。小学生、中・高生の保護者数名で外
活動の担当を受け持ち、旅行会社の方と行
く方面や内容を企画し、毎年日帰りで貸切
バスを使って出かけ、バスの中でのおしゃべり
や施設見学、食事を楽しみ、夏休みの思い
出を作っています。この機会に、家族だけ
では体験しにくいことに挑戦出来たり、小学生
はお兄さん、お姉さんたちの様子に憧れを抱
いたりして、貴重な時間を過ごしています。

外活動係になって楽しいのは、行ってみ
たい場所を選べることだと思います。でも、見
学場所が去年と同じような場所にならな
いか、ランチはみんなが食べられるメニュー
があるかなどを気にしながら決めていきま
す。いざ行き先を決めた後でも、参加人
数が決定するまでは見学場所が面白くな
さそうだと思われたら…とドキドキします。
旅行会社さんとのやり取り、参加者のやり
取りなど、細々としたことはありますが、終
わった後に楽しかったと言ってもらえると頑
張ってよかったなと思います（係より）

近年出かけた場所

平成 28 年 秩父 SL
長瀬ライン下り
平成 29 年 成田ゆめ牧場
航空科学博物館
平成 30 年 茨城 JAXA
ヤクルト工場

就学部

就学部には就学前の就園児 15 名が所属し、月一回のレクレーションや親のランチ会を行っています。大池公園での遠足、にこてらすでの水遊びやすいか割り、体操教室、みかん狩りなど、戸外に出たり、講師をお呼びした活動も行っています。12 月に行ったクリスマス会ではお買い物ごっこやビンゴゲームなど、たくさんの楽しいゲームを行い、親子みんなで盛り上がりました。そりレースでは子どもたちが一生懸命声援を送っている姿を見て成長を感じることが出来ました。親のみの活動として、ランチ会での情報共有や学校部との交流会で先輩お母さんから小学校生活のお話を聞いたりしています。就学部での活動は子どもにとっても親にとっても、楽しくほっと安心できる場だと感じています。



保育部

保育部には就園前の幼児が所属し、火曜日と金曜日の週二回、ボランティアさんと子どもで朝の会、手遊び、体操、公園遊びなどをします。

①体力をつける ②基本的な生活習慣を身につける ③母親などの家族以外の人との触れ合いを楽しむ ④社会性を育てる
ことを目標に、ボランティアさんがやさしく関わってくださっています。

年二回の園外保育ではリュックを背負って公園まで、ボランティアさんと手をつないでいつもよりたくさん歩きます。電車やバスに乗って大きな公園にも行き、みんなくたくたになるまで、元気いっぱい遊びました。10 月にはボランティアさんがお楽しみ会を主催してくださり、ハロウィンをモチーフに、パン食い競争、大玉ころがし、トンネル遊びなど、たくさん遊びました。土曜日だったので、お父さんやおばあちゃんも参加して、賑やかに楽しめました。12 月はクリスマス会。みんなでクリスマスソングを歌ったり、ボーリングやパラバルーン、しっぽ取りなどいつもと違う遊びをしました。サンタさんからプレゼントをもらい、ボランティアさんの出し物のハンドベルとはらぺこあおむし絵本劇、みんな集中して楽しんでいました。



ボランティアさんと子どもで活動をしている間、親たちは別室で、活動についての話し合いや季節ごとのイベントの準備や、雑談をします。尽きない悩みを分かち合える時間になります。

せや福祉ホームのホームページ

URL はこちら ↓

<http://seyafukushihome.org/>

ほっぺの活動拠点であるせや福祉ホームの活動情報、はっぴーじゃむ、はっぴーなうなどの余暇活動の案内が更新されます。ほっぺの案内もして頂いています。

ほっぺ会員専用のブログでは、親の会・青年部・学校部の予定や情報を毎月定例会後に掲載しています。随時ご覧ください。会員のパスワードについては各部長に、ブログ掲載のご提案はブログ係までご連絡ください。



ほっぺは 30 周年を迎えました

ほっぺは、瀬谷区の障害児地域訓練会として、平成元年から活動を始めました。

生きていくために必要な社会性を身につけることで、「地域でいきいきと暮らす」ことのできる大人になること、活動を通して親子がともに育ちあうことをボランティアさんといっしょに目指しています。幼稚園や保育園へ通う前の訓練会としての「保育部」、幼稚園・保育園・療育センターに通園する子どもたちの「就学部」、小学生・中学生・高校生の「学校部」、成人後の「成人部」（親のみ活動）があります。今年度 30 周年を迎え、OBOG やボランティアさんにもご協力頂き、これまでのほっぺの写真を集めて、クリアファイルに印刷しました。遠足や合宿やバスハイクの記念写真、楽しそうなクリスマス会、普段の朝の会の様子、節分、七夕、プール遊び、芋ほり、公園遊び、などなど、たくさん集まりました。多くの親子が悩みながらも笑って過ごしてきた写真です。



- A OBOG 活け花、保育部お別れ会、パラバルーンなど
- B どんぐりの外活動・保育部お別れ会など
- C ドニーチョ・サロン・ムーブメント・外活動など
- D 就学部 みかん狩り、にこてらす、遠足など
- E 外活動
- F 保育部・就学部 クリスマス会、外遊び、芋ほり、お別れ会など
- G いろ☆いろ 調理、あゆみ荘など
- H いろ☆いろ・OBOG 合宿、ダンス大会、外活動など
- I いろ☆いろ 調理、外活動など

親の会 会長より

上原ひさ乃

ほっぺは昨年地域訓練会として30周年を迎えました。横浜市で地域訓練会が始まったのは1972年(昭和47年)です。親たちが集まり、乳幼児期は母親が最も不安が多い、親同志が悩みを語ったり育児の仕方を学んだりし、子どもたちには、楽しいひと時の遊びを与えるために訓練会を作りたいと、週1回の活動を始めます。翌年には横浜市に、訓練会に対する費用の予算化と訓練会場の提供を要望し、訓練会助成制度と地域活動ホーム建設につながりました。それから15年後、瀬谷区でも保健師さんの呼びかけから、ほっぺが立ち上がりました。当初は活動場所もなく、協力者の方にも毎回お礼ができなくて、手弁当でお願いすることもあったようです。地域訓練会にとって協力者の方の存在は大きく、訓練会の魅力の一つだと思います。子ども達が小さいうちは、知的に伸ばしたいという気持ちが強いものです。おそらく私たち母親の多くがそう思ったのではないかと思います。子どもが成人を迎えた今、感じるのは家庭で、地域で暮らす力が、IQで表される数字より大事、そんな経験を少し先をいく母として伝えていけたらと思います。それもまた訓練会の良さかと思います。今後も訓練会が続いていくことを願っています。

加村先生より 30 周年によせて

訓練会にボランティアとして関わらせて頂き、30 年の交わりを通してたくさんの親御さんとお子さんに出会いました。その中でお子さんの成長を喜び合える仲間が増え、育ちに不安をお持ちのお母さん達からお子さんの成長を実感し、訓練会に入って良かったと嬉しい言葉を頂き、お母さんが前向きに子育てに励んで行かれる姿が私たちボランティアの頑張りとなりました。保育部・就学部・学校部に進まれ、幼かったお子さんが成長し、立派に成人され社会に出て頑張って就労されていることは、何に増しても得がたい喜びであると同時に、ボランティアを信頼してお子さんを託して下さっているご家族の皆さんに感謝の気持ちで一杯です。

当時、地域の中で集える場所が無く、情報交換や親御さん同志の触れ合いを求め、自主的に「訓練会ほっぺ」を立ち上げられ、それをボランティアの私達が少しサポートする形で母子一緒にゆったりと和やかに進められていた事を思い出します。お子さん達と公園で遊び、お母さん達が作って下さった昼食を頂き、特別な事ではなく、そこに集い合ったお母さん同志が意見を交流し合い、お子さんとボランティアが触れ合って楽しく充実した時間を過ごす大切な時間であったと思います。

会員が減り活動困難になったり、社会の偏見で集える場所が無くなり、あちこち移動しなければならない厳しい状況もあり、常に危機感を感じながら活動が続ける日々もありました。しかし今日活動できる拠点もでき、会の体制が整い、ボランティアも増え、たくさんの支援を頂きながら会を継続できている事、一重にお母さん達のご努力の賜物であったと思います。

今日の早期教育や社会福祉事情、親御さんの療育の要求の高さ等から訓練会に求めるものが変わって来た流れを受け、会員数も減少し、運営が難しくなっている現状の中で、今一度訓練会の意味や必要性・あり方を考える時期にあると思います。この様な状況だからこそ失くしてはならないものとして、療育ではなく、日々の営みの中で仲間が助け合える繋がり、子ども同志が心から笑え合える場、色々な経験の積み重ねが出来る場としての訓練会、そこに一人一人が意味を見出せる様な仲間づくりと活動をこれからも大切にして欲しいと思っています。

毎年、保育部のお母さん達から手作りの文集を頂きます。可愛いお子さんの写真や当時のお母さんの思いがたくさん詰まっている思い出の文集です。子育てに忙しい中でも今まで続けられて来た歴史を絶やす事なく、一年間の記録の文集を作って下さっているお母さん達の労力と思い感謝ですし、ご家族の人生の一コマにボランティアとして関わらせて頂いていた喜びを感じながら、文集を読む事が老後の楽しみの一つとなればと思っています。

訓練会が喜び、悲しみ、辛さ、楽しみを共有し合える居場所であり、支え合える人との繋がりの中でみんなが生きる糧を見出せる場でありますように、益々の発展を祈っています。

ボランティア 加村 正子

編集後記

訓練会は親たちで運営しているので、子どもたちに何を体験させていくのかを企画しやすく、先輩たちに相談もできるという素敵な面があります。幼児期から成人期まで活動が続けることは、大変なことではありますが、子どもの土台は、火曜日と金曜日はほっぺ、という保育部のころの生活の繰り返しで作られたと感じます。そして、小学校に入ってから、少しずつ、ボランティアさんや親たちの手から離れ、本人たちで過ごす様子を見ていられるようになりました。細く長い、幼少期からのつきあいの中で、無関心同士だった子どもたちが干渉しあうようになり、そのうち距離感を覚えていくのかなと楽しみにしているところです。あと数年経って、うちの子が自立する頃には、先輩お母さんに続いて保育部のお手伝いなどできるようになりたいなあと思っています。

今年は、広報を担当して、ほっぺの様子や、仲間はたくさんいるよということを、なるべく多く伝えたいと考えながら、取材や編集を行いました。写真やコメントの協力をしてくださった方々、ありがとうございました！

Suga